



DESCENT X30

操作マニュアル

目次

はじめに.....	1
使用開始にあたって.....	1
デバイス概要.....	1
コントロールメニュー.....	2
ダイビング.....	3
ダイビングに関する警告.....	3
ダイビングモード.....	4
プールモード.....	4
ダイブ設定.....	4
ダイビングモードの詳細設定.....	5
ガスの混合比を設定する.....	5
カスタムダイブアラートを設定する.....	5
酸素分圧(P02)閾値を設定する.....	6
飛行禁止時間.....	6
トレーニングページをカスタマイズする.....	6
ダイビングページ.....	7
単一ガスモードのダイビングページ.....	7
マルチガスモードのダイビングページ.....	8
ゲージモードのダイビングページ.....	8
ダイビングを開始する.....	9
ダイビングコンパスを使用する.....	10
ゲージダイビングストップウォッチを使用する.....	10
ダイビング中にガスを切り替える.....	10
安全停止を行う.....	11
減圧停止を行う.....	12
ダイナミック深度を確認する.....	13
ダイブイベントを記録する.....	13
サーフェスインターバルアプリを確認する.....	14
ダイビングログアプリを確認する.....	15
ダイビングプラン.....	15
無減圧潜水時間(NDL)の計算.....	15
呼吸ガスを計算する.....	15
減圧プランを作成する.....	16
減圧プランを使用する.....	16
ダイブサイトを検索する.....	16
アルティチュードダイビング(高所潜水).....	16
ダイビングアラート.....	17
ダイビング用語.....	18
コンパス.....	19
コンパスの方位を固定する.....	19
方位基準を設定する.....	19

コンパスを校正する.....	19
ナビゲーション.....	20
ナビゲーションを開始する.....	20
保存済みポイントを編集する.....	20
ワイヤレス接続.....	21
スマートフォン接続機能.....	21
スマートフォンとペアリングする.....	21
Garmin Dive.....	21
ワイヤレスセンサー.....	21
inReach リモート.....	21
inReach リモートを使用する.....	21
設定.....	22
ディスプレイ設定.....	22
システム設定.....	22
デバイスのパスコードを設定する.....	22
デバイスのパスコードを変更する.....	22
GPS 設定を変更する.....	23
水を検知して自動起動を無効にする.....	23
初期設定にリセットする.....	23
デバイスの情報を確認する.....	23
電子ラベルの規制および準拠情報を確認する.....	23
デバイス情報.....	24
デバイスを充電する.....	24
ダイブコンピューターを装着する.....	24
バンドを交換する.....	25
画面保護フィルムを貼り付ける.....	26
仕様.....	28
バッテリー稼働時間.....	28
お取り扱い上の注意事項.....	28
デバイスのクリーニング方法.....	29
データ項目.....	30
トラブルシューティング.....	31
製品のアップデート.....	31
デバイスに関するその他の情報.....	31
日本語で表示されません.....	31
デバイスはどのスマートフォンに対応していますか?.....	31
デバイスとスマートフォンが接続できません.....	31
ダイビング.....	32
組織をリセットする.....	32
表面気圧をリセットする.....	32
衛星信号を受信する.....	32

GPS 衛星受信を向上する	32
商標について	33

はじめに

⚠ 警告

本製品を安全にご使用いただくために、同梱の「安全および製品に関する警告と注意事項」に記載される内容を必ずお読みください。

使用開始にあたって

ダイブコンピューターを初めてご使用になるときには、次の手順に沿ってデバイスをセットアップし、基本的な機能を理解しましょう。

- 1 **PWR キー**を一秒間以上長押ししてダイブコンピューターの電源をオンにします。(1 ページ [デバイス概要](#))
- 2 画面に表示される指示に従って初期設定を完了します。
初期設定でスマートフォンとダイブコンピューターをペアリングできます。ペアリングすると、ダイブコンピューターで通知を受信したり、データを同期したりすることができます。(21 ページ [スマートフォンとペアリングする](#))
- 3 ダイブコンピューターを充電します。(24 ページ [デバイスを充電する](#))
- 4 ダイビングを開始します。(9 ページ [ダイビングを開始する](#))

デバイス概要



- ① **BACK / PWR キー**
 - 押す：前のページに戻る
 - 長押し：電源オン
 - 長押し：コントロールメニューを開く(2 ページ [コントロールメニュー](#))
- ② **PREV キー**
 - 押す：メニュー / ページをスクロール
- ③ **NEXT キー**
 - 押す：メニュー / ページをスクロール
- ④ **ENTER キー**
 - 押す：選択項目を決定
 - 押す(ダイビング中)：ダイビング中に操作可能なオプションやダイブ設定を表示

コントロールメニュー

コントロールメニューからデバイスの機能やオプションにすばやくアクセスできます。
任意の画面で **BACK キー** を長押しします。

コントロール	説明
	ホーム画面に戻る
	輝度とディスプレイ設定を変更(22 ページ ディスプレイ設定)
	プールダイブモードをオン / オフ(4 ページ プールモード)
	キーをロック
	スマートフォンとの Bluetooth 接続のオン / オフ(21 ページ スマートフォンとペアリングする)
	現在地をポイント登録(20 ページ ナビゲーション)
	設定を開く(22 ページ 設定)
	電源オフ

ダイビング

⚠ 警告

この警告に従わなかった場合、事故または医療事象が発生し、死亡または重傷を負うおそれがあります。

ダイビングに関する警告

- このデバイスのダイビング機能は、有資格のダイバーのみが使用できます。このデバイスだけをダイブコンピューターとして使用することは避けてください。このデバイスに適切なダイビングに関する情報を入力しなかった場合、死亡または重傷を負うおそれがあります。
- デバイスの最大潜水深度を超えて潜水しないでください。(28 ページ 仕様)
- デバイスの使用方法、表示内容、および制限事項について、必ず十分に理解してください。本マニュアルやデバイスに関して不明な点がある場合は、デバイスを着用してダイビングする前に、必ず不明な点を解消してください。ご自身の安全は、自分自身が担っていることを常に念頭に置いてください。
- ダイブテーブルやダイブコンピューターを使って計画されたダイブプランに従っている場合であっても、常に減圧障害(DCI)のリスクが伴います。これはどのようなダイブプロフィールについても当てはまります。ダイブコンピューター、ダイブテーブル、その他の方法を使っても、減圧障害(DCI)や酸素中毒の可能性を完全には排除できません。使用される方の身体の状態は日々変化します。このデバイスではこのような差異は考慮されません。減圧障害(DCI)のリスクを最小限に抑えるために、このデバイスが示す制限値を十分下回る状態を維持することを強く推奨します。ダイビングする前に、ご自身の体調について医師にご相談ください。
- 水深計、残圧計、タイマーやウォッチなどの機器を補助として常に使用してください。このデバイスを使用してダイビングする際には、必ずダイブテーブルを使用してください。
- ダイビングを開始する前に、デバイスの動作や設定、ディスプレイの機能、バッテリーレベル、タンク圧力、ホースや接続部の空気漏れなどの安全確認を必ず実施してください。
- ダイビングを目的として、このデバイスを複数のユーザーで共有しないでください。ダイバーのプロフィールはユーザーに特有のものであり、他のダイバーのプロフィールを使用した場合、誤った情報が表示され、死亡または重傷を負うおそれがあります。
- 安全上の理由から、単独でのダイビングは絶対にしないでください。水面に監視人員がいる場合でも、指定されたバディと一緒にダイビングしてください。減圧障害(DCI)の症状が遅れて現れたり、陸上での活動によって減圧障害(DCI)が誘発されることがあるため、ダイビング後も、しばらくの間は他の人と一緒に行動するようにしてください。
- このデバイスは、潜水土やプロダイバーのダイビングを目的としたものではありません。レクリエーションのみを目的にしたものです。潜水土やプロダイバーは、減圧障害(DCI)のリスクが増大する水深や状況でダイビングする可能性があります。
- 自分自身でタンクの中身を確認し、ガス分析値をデバイスに必ず入力してから、ガスを使ったダイビングを実施してください。タンクの中身の確認と、デバイスへのガス分析値の入力を怠った場合、ダイビングプランが誤ったものとなり、死亡または重傷を負うおそれがあります。
- 複数本のタンクを使ったダイビングは、一本のタンクを使ったダイビングよりもはるかに大きなリスクがあります。複数本のタンクを使用したときに操作を間違えると、死亡または重傷を負うおそれがあります。
- 常に安全な浮上を行ってください。急激に浮上すると、減圧障害(DCI)のリスクが高まります。
- このデバイスの減圧ロックアウト機能を無効にした場合、減圧障害(DCI)のリスクが高まり、死亡または重傷を負うおそれがあります。本機能を無効にする場合は、自己責任のもとで行ってください。
- デバイスに表示される減圧停止に従わなかった場合、死亡または重傷を負うおそれがあります。表示された減圧停止の水深を超えて、絶対に浮上しないでください。
- 減圧停止が必要とされない場合でも、水深 3 ~ 5 メートル(9.8 ~ 16.4 フィート)で 3 分間の安全停止を常に行ってください。

ダイビングモード

Descent ダイブコンピューターは、複数のダイビングモードに対応しています。各ダイビングモードには、ダイビング前のチェック、水面での表示、ダイビング中、ダイビング後の4つ段階があります。ダイビング前のチェック段階では、ダイビングを開始する前に設定を確認できます(4 ページ [ダイブ設定](#))。水面での表示の段階では、ダイビングモードのデータページ(7 ページ [ダイビングページ](#))を確認できます。ダイビング中は、現在のダイビングに関連するデータが表示されます。GPS などのその他の機能は無効になります。(9 ページ [ダイビングを開始する](#))ダイビング後は、完了したダイビングの概要を確認できます。(15 ページ [ダイビングログアプリを確認する](#))

単一ガスモード：1本のタンクだけでダイビングするモードです。1本のボトムガスと、最大11本のバックアップガスを設定することができます。

マルチガスモード：複数本のタンクを使用し、ダイビング中にタンクを切り替えてダイビングするモードです。ガスの酸素比率を5～100%で設定できます。このモードでは、1本のボトムガスと、最大11本の減圧用または予備用のタンクに対応しています。

注意：無減圧潜水時間(NDL)や水面に上がるまでに要する時間(TTS)の計算には、ボトムガスと減圧用のタンクが使用されます。ダイビング中にユーザーが予備用のタンクに切り替えるまでは、予備用のタンクは無減圧潜水時間(NDL)や水面に上がるまでに要する時間(TTS)の計算には使用されません。

ゲージモード：基本的なボトムタイマー機能を使ってダイビングするモードです。

注意：ゲージモードの使用後は、24時間経過するまでゲージモード以外のダイビングモードを使用することはできません。

プールモード

プールモードでは、窒素蓄積量レベルや減圧ロックアウトは通常どおり機能しますが、ダイビングの記録はダイブログには記録されません。

1 **BACK** キーを長押ししてコントロールメニューを表示します。

2  を選択します。

深夜0時になると、プールモードは自動的にオフになります。

ダイブ設定

ニーズに合わせてダイビングの設定をカスタマイズできます。一部のダイビングモードのみに関連する設定項目もあります。ダイビングを開始する前にも設定を変更できます。

ホーム画面で **[設定]** を選択します。

[ガス]：ガスを使用するダイビングモードのガスの混合比を設定します。一つのダイビングモードに対して最大12個のガスを設定できます。(5 ページ [ガスの混合比を設定する](#))

[保守性]：減圧計算のための保守性レベルを設定します。保守性レベルが高いほど、ボトムタイムは短くなり、浮上時間が長くなります。**[カスタム]** を選択すると、グラディエント・ファクターを設定できます。

注意：カスタム設定する場合は、グラディエント・ファクターについて十分理解した上で数値を入力してください。

[水の種類]：ダイビングする場所の水の種類を設定します。

[PO2]：酸素分圧(PO2)の減圧閾値、警告アラート閾値、緊急アラート閾値を設定します。(6 ページ [酸素分圧\(PO2\)閾値を設定する](#))

[スキューバアラート]：ガスダイビングでのカスタムアラートを設定します。(5 ページ [カスタムダイブアラートを設定する](#))

[ディスプレイ設定]：ダイビングモードごとのデータページをカスタマイズします。(7 ページ [ダイビングページ](#))

[安全停止]：安全停止する時間を **[オフ]** **[3分]** **[5分]** から選択します。

[最終減圧停止]：減圧停止の最終深度を **[3m]** **[4.5m]** **[6m]** から選択します。

[ダイブ遅延終了]：水面に上がってから、タイマーが停止してダイビングのデータが保存されるまでの時間を設定します。

[ダイブショートカット]：ダイビング中のキー操作のショートカットを設定します。

[詳細設定]：ダイビングモードの詳細設定をカスタマイズします。(5 ページ [ダイビングモードの詳細設定](#))

ダイビングモードの詳細設定

ホーム画面で**【設定】** > **【詳細設定】**の順に選択します。

【ダブルタップでスクロール】：ダイブコンピューター本体を2回**タップ**して、データページをスクロールできます。
予期せずスクロールしてしまうときは、**【感度】**を低く設定してください。

【サイレントダイビング】：ダイビング中のすべてのトーンとバイブレーションを無効にします。

【コンパス】：ダイビングコンパスの校正と方位基準を設定します。(19 ページ [コンパスを校正する](#))

【飛行禁止時間】：飛行禁止時間のカウントダウンタイマーのモードを選択します。(6 ページ [飛行禁止時間](#))

【単位】：距離、深度、温度の表示単位を設定します。

【減圧ロックアウト】：減圧ロックアウト機能を無効にできます。減圧ロックアウト機能を有効にしていると、ガスを使用するダイビングで減圧潜水中にシーリング深度を超えて3分間以上浮上した場合、これらのダイビングモードが24時間使用できなくなります。

注意：上記の減圧ロックアウトの条件に該当したあとでも、減圧ロックアウト機能を無効にできます。

ガスの混合比を設定する

ガスを使用するダイビングモードのガスの混合比を設定します。一つのダイビングモードに対して最大12個のガスを設定できます。減圧計算には減圧ガスが使用され、バックアップガスは含まれません。

1 ホーム画面で**【設定】** > **【ガス】**の順に選択します。

2 ダイビングモードを選択します。

3 1行目のガスを選択します。

1行目のガスは、単一ガスモードとマルチガスモードではボトムガスです。

4 **【酸素】**を選択して、酸素の比率を入力します。

5 **【ヘリウム】**を選択して、ヘリウムの比率を入力します。

残りが窒素の比率になります。

6 **BACK** キーを押します。

7 次のオプションを選択します。

注意：ダイビングモードにより、編集可能なオプションが異なります。

・**【バックアップ追加】** 酸素とヘリウムの比率を入力して、バックアップガスを設定します。

・**【追加】** 酸素とヘリウムの比率を入力します。**【モード】**を選択して、減圧ガスやバックアップガスなどのガスの使用目的を設定します。

注意：マルチガスモードでは、**【トラベルガスに設定】**を選択して、ガスを潜降用のトラベルガスに設定することができます。

カスタムダイブアラートを設定する

1 ホーム画面で**【設定】** > **【スキューバアラート】**の順に選択します。

2 次のオプションを選択します。

・**【アラート追加】** アラートを新規追加します。

・アラート名を選択して既存のアラートを編集します。

3 必要な場合は、アラートのステータスを有効にします。

4 次のオプションを選択します。

注意：アラートタイプにより設定可能な項目が異なります。

・**【深度】** アラートが作動する特定の深度を設定します。

・**【ラベル】** アラート名を入力します。

・**【タイム】** アラートが作動する特定のタイムを設定します。

・**【インターバル】** アラートの作動トリガーを、設定値に到達したとき、または設定インターバルごとのいずれかから選択します。

・**【方向】** アラートの作動方向を潜降のみ、浮上のみ、または潜降と浮上のいずれかから選択します。

・**【ダイブタイプ】** アラートの作動するダイブタイプを選択します。

・**【音/バイブ】** アラートの音とバイブレーションの鳴動パターンを選択します。

・**【ポップアップ】** アラート作動時のポップアップのオン/オフを選択します。

・**【アラート確認】** アラートの作動をプレビューします。

酸素分圧(P02)閾値を設定する

減圧 P02 アラート、P02 警告アラート、P02 緊急アラートの酸素分圧(P02)閾値(単位:bar)を設定します。

- 1 ホーム画面で **[設定]** > **[P02]** の順に選択します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - ・ **[MOD/ 減圧 P02]** 酸素の割合が最も高い減圧ガスに切り替えて浮上を開始する最大酸素分圧と最大行動深度(MOD)を設定します。

注意: デバイスは自動でガスの切り替えを行いません。ユーザー自身が手動でガスを切り替える必要があります。

 - ・ **[P02 警告]** P02 警告アラートの閾値を設定します。
 - ・ **[P02 緊急]** P02 緊急アラートの閾値を設定します。
- 3 値を入力します。

ダイビング中に設定した P02 緊急アラートの閾値に達すると、ダイブコンピューターにアラートメッセージが表示されます。(17 ページ [ダイビングアラート](#))

飛行禁止時間

ダイビング後に、飛行禁止時間が表示されます。この時間内は飛行機に搭乗しないでください。飛行禁止時間中は、ホーム画面に ✈ のアイコンと、推定飛行禁止時間が表示されます。サーフェスインターバルアプリで詳細を確認できます。(14 ページ [サーフェスインターバルアプリを確認する](#))

ホーム画面で **[設定]** > **[詳細設定]** > **[飛行禁止時間]** の順に選択します。

飛行禁止時間モード	ダイビングの内容	飛行禁止時間
標準または 24 時間	3 分間未満のダイビングまたは深度 5m 未満のダイビング	0 時間
標準	前回のダイビングから 48 時間以上経過した無減圧ダイビング	12 時間
標準	48 時間以内の複数の無減圧ダイビング	18 時間
標準	減圧停止を伴うダイビング	24 時間
24 時間	ゲージモード以外の減圧プランに従ったダイビング	24 時間
標準または 24 時間	ゲージモードまたは減圧プランを無視したダイビング	48 時間

トレーニングページをカスタマイズする

ダイビングモードごとにトレーニングページの表示 / 非表示、レイアウトとデータ項目をカスタマイズします。

- 1 ホーム画面で **[設定]** > **[ディスプレイ設定]** の順に選択します。
- 2 カスタマイズするダイビングモードを選択します。
- 3 **[トレーニングページ]** を選択します。
- 4 カスタマイズするトレーニングページを選択します。
- 5  を選択します。
- 6 次のオプションを選択します。
 - ・ **[レイアウト]** 分割数とレイアウトを選択します。
 - ・ **[データ項目]** データ項目を変更します。

ヒント: データ項目については、30 ページ [データ項目](#) をご参照ください。

 - ・ **[並べ替え]** ページの表示位置を並べ替えます。
 - ・ **[削除]** ページを削除(非表示)します。

注意: ページにより選択可能なオプションが異なります。
- 7 必要に応じて、**[追加]** を選択してトレーニングページを追加します。

カスタムデータページまたは既定のデータページを追加できます。

ダイビングページ

NEXT キーを押すか、ダイブコンピューター本体を 2 回タップしてページをスクロールできます。
トレーニングページ設定で、ページを並べ替えたり、ダイビングストップウォッチページなどの新規ページの追加やカスタマイズをすることができます(6 ページ トレーニングページをカスタマイズする)。ダイビングページの一部のデータ項目はカスタマイズできます。

単一ガスモードのダイビングページ

メインダイビングデータページ：メインダイブデータ項目(ガスの種類、浮上 / 潜降スピード、現在の深度)を表示します。NEXT キーを押してダイビングコンパス(10 ページ ダイビングコンパスを使用する)やその他のデータ項目(最大深度、浮上時間(TTS)、時刻、現在の温度)を表示します。



①	窒素(N2)とヘリウム(He)の体内組織の蓄積量レベル ■ 緑：0 ～ 79% ■ 黄：80 ～ 99% ■ 赤：100% 以上
②	浮上 / 潜降のスピード ■ 緑：良好(7.9m/ 分未満) ■ 黄：若干速い(7.9 ～ 10.1m/ 分) ■ 赤：非常に速い(10.1m/ 分を超過)
③	酸素分圧(P02)レベル

マルチガスモードのダイビングページ

メインダイビングデータページ：メインダイブデータ項目（ガスの種類、浮上 / 潜降スピード、最大深度、浮上時間（TTS）、時刻、現在の温度）を表示します。**NEXT キー**を押してダイビングコンパス（10 ページ [ダイビングコンパスを使用する](#)）を表示します。



①	窒素 (N2) とヘリウム (He) の体内組織の蓄積量レベル 緑：0 ～ 79% 黄：80 ～ 99% 赤：100% 以上
②	浮上 / 潜降のスピード 緑：良好 (7.9m/ 分未満) 黄：若干速い (7.9 ～ 10.1m/ 分) 赤：非常に速い (10.1m/ 分を超過)
③	酸素分圧 (PO2) レベル

ゲージモードのダイビングページ

メインダイビングデータページ：メインダイブデータ項目（最大深度、過去 24 時間の最低温度、時刻）と、ストップウォッチを表示します（10 ページ [ゲージダイビングストップウォッチを使用する](#)）。**NEXT キー**を押して、ダイビングコンパスをフルスクリーンで表示します。（10 ページ [ダイビングコンパスを使用する](#)）



ダイビングを開始する

注意

ダイブコンピューターを濡れたまま保管すると、予期せず電源がオンになり、バッテリーを消耗するおそれがあります。

注意：デフォルトの設定では、ダイブコンピューターが水を検知すると自動で電源がオンになります。(23 ページ [水を検知して自動起動を無効にする](#))

- 1 ダイビングモードを変更する場合は、**[ダイブモード]**を選択して任意のダイビングモードを選択します。
- 2 **[ダイブ開始]**を選択します。
- 3 ダイブ設定を確認します。その他のダイブ設定を表示するには、**[全ての設定を表示]**を選択します。(4 ページ [ダイブ設定](#))
- 4 ダイブコンピューターを水から出した状態にして、GPS を受信します。受信が完了すると、アイコンが緑に点灯します。(任意)
エントリー地点を記録するには、GPS の受信が必要です。
- 5 **[確認]**を選択します。
- 6 ダイビングを開始します。
水深 1.2m に到達すると、自動的にタイマーが開始されます。
注意：ダイビングモードを選択せずにダイビングを開始した場合は、最後に使用したダイビングモードと設定が使用されます。
- 7 次のオプションを選択します。
 - ・ **NEXT キー**を押してダイビングページとダイビングコンパスをスクロールします。
ヒント：ダイブコンピューター本体を 2 回**タップ**することでもページをスクロールできます。
 - ・ **ENTER キー**を押して、ダイビング中に操作可能なオプションやダイブ設定を表示します。
- 8 ダイビングを終了するには、水面まで浮上します。
- 9 ダイブコンピューターを水から出した状態にして、GPS を受信します。受信が完了すると、アイコンが緑に点灯します。(任意)
- 10 ダイブ終了のタイマーがカウントダウンするのを待ちます。
注意：深度 1 m まで浮上すると、ダイブ終了のタイマーのカウントダウンが開始します(4 ページ [ダイブ設定](#))。 **ENTER キー**を押して、**[ダイブを停止]**を選択すると、カウントダウンを待たずにダイビングを終了できます。
ダイブアクティビティが保存されます。
ヒント：ダイブログアプリでダイビングの履歴を確認できます。(15 ページ [ダイビングログアプリを確認する](#))
- 11 ダイブコンピューターを乾かします。

ダイビングコンパスを使用する

- 1 ダイビング中にページをスクロールしてダイビングコンパスを表示します。

注意：ダイビングコンパスの表示は、トレーニングページの設定により異なる場合があります。



進んでいる方角 ① が表示されます。

- 2 ENTER キーを押します。
- 3 [コンパス] を選択します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - ・ [方向設定] 現在向いている方位に進行方向を設定します。
設定した方角 ② からの偏差 ③ が表示されます。
 - ・ [方向を変更] 設定した方位を変更します。
 - ・ [180 度回転] 現在デバイスに表示されている方角から 180 度回転した正反対の方角に進行方向を変更します。
注意：マークが赤で表示されているときは、進んでいる方角が設定した方角の反対側を向いていることを示します。
 - ・ [左に 90 度]/[右に 90 度] 現在デバイスに表示されている方角から左 / 右に 90 度回転した方角に進行方向を変更します。
 - ・ [方向をクリア] 設定した方位を解除します。

ゲージダイビングストップウォッチを使用する

- 1 ゲージモードでダイビングを開始します。
- 2 ENTER キーを押します。
- 3 [ストップウォッチを開始] を選択します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - ・ ストップウォッチを終了するには、ENTER キーを押して [ストップウォッチを停止] を選択します。
 - ・ ストップウォッチをリセットするには、ENTER キーを押して [ストップウォッチをリセット] を選択します。

ダイビング中にガスを切り替える

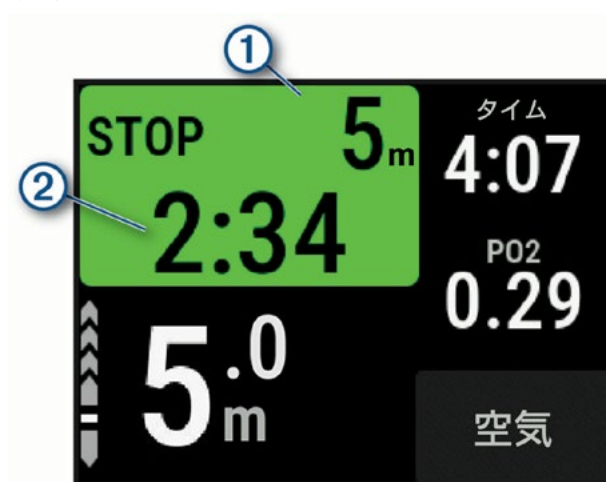
- 1 単一ガスモードまたはマルチガスモードでダイビングを開始します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - ・ ENTER キーを押して、[ガス] を選択します。任意のガスを選択します。
注意：[追加] を選択して、新しいガスを入力することもできます。
 - ・ MOD/ 減圧 PO2 の閾値に達するまでダイビングを行います。(6 ページ 酸素分圧 (PO2) 閾値を設定する)
残圧の最も高いガスへの切り替えを確認するオプションが表示されます。
注意：ダイブコンピューターは自動でガスの切り替えを行いません。ユーザー自身が手動でガスを切り替える必要があります。

安全停止を行う

減圧障害 (DCI) のリスクを軽減するため、ダイビング中は必ず安全停止を行ってください。

- 1 深度 11m 以上の潜水の後、深度 5m まで浮上します。

ダイビングページに安全停止情報が表示されます。



①	安全停止のシーリング深度
②	安全停止タイマー シーリング深度の 1m (5ft) 以内に浮上するとタイマーのカウントダウンが開始します。

- 2 安全停止中は、安全停止タイマーのカウントが 0 になるまでシーリング深度の 2m 以内に留まります。

注意：シーリング深度から 3m 以上浮上すると、安全停止タイマーのカウントが一時停止し、アラートが表示されます。再び深度 11m 以下まで潜降すると、安全停止タイマーがリセットされます。

- 3 水面まで浮上してください。

減圧停止を行う

減圧障害(DCI)のリスクを軽減するため、必ずデバイスに表示される減圧停止に従ってください。減圧停止を無視した場合、減圧障害(DCI)のリスクが高まるおそれがあります。

- 1 ダイビング中に無減圧潜水時間(NDL)を超えた場合、浮上を開始します。

ダイビングページに減圧停止情報が表示されます。



①	減圧停止のシーリング深度
②	減圧停止タイマー

- 2 減圧停止中は、減圧停止タイマーのカウントが0になるまでシーリング深度の0.6m以内に留まります。

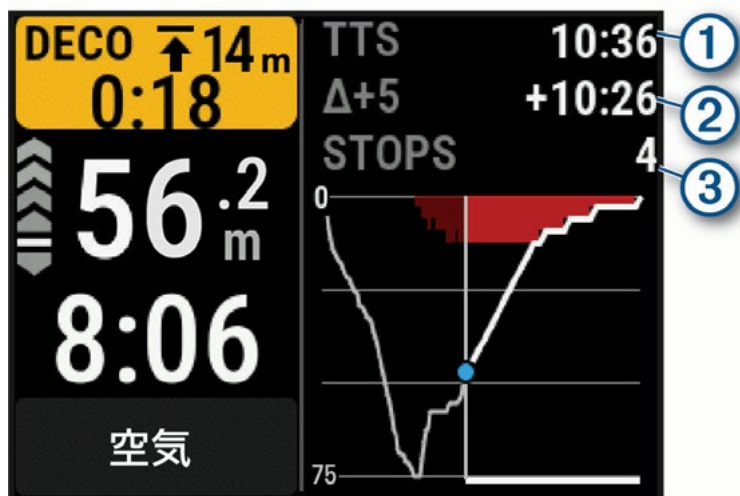
注意：シーリング深度から0.6m以上浮上すると、減圧停止タイマーのカウントが一時停止し、アラートが表示されます。減圧停止深度の範囲に潜降するまで、ダイビングページの現在の深度とシーリング深度が赤点減します。

- 3 水面または次の減圧停止深度まで浮上を再開してください。

ダイナミック深度を確認する

ガスダイビング中にダイナミック深度データページでこれまでの深度と水面までの浮上プランを確認できます。浮上プランには、ガスの切り替えや自動セットポイントの切り替えと、必要な減圧停止または安全停止(設定されている場合)が含まれます。

ガスダイビング中に **NEXT** キーを押してダイナミック深度ページを表示します。



①	減圧停止を含めた水面まで安全に浮上するために必要な時間
②	現在の深度に 5 分間留まった場合に安全に浮上するために必要な時間との差 減圧停止中でない場合は、この項目は NDL Δ 3M または NDL Δ 10FT のデータ項目に置き換えられます。これは、現在の深度から 3m(10ft.) 浮上した場合の無減圧潜水時間 (NDL) です。
③	浮上に要する停止回数

ダイブイベントを記録する

ブックマークショートカットでダイビング中のイベントを記録できます。POI を発見したり、ダイビング中に特定の地点に到達したときの記録に役立ちます。

1 任意のショートカットにブックマーク機能を設定します。(4 ページ [ダイブ設定](#))

2 ダイビング中にブックマーク機能を設定したショートカット操作を行います。

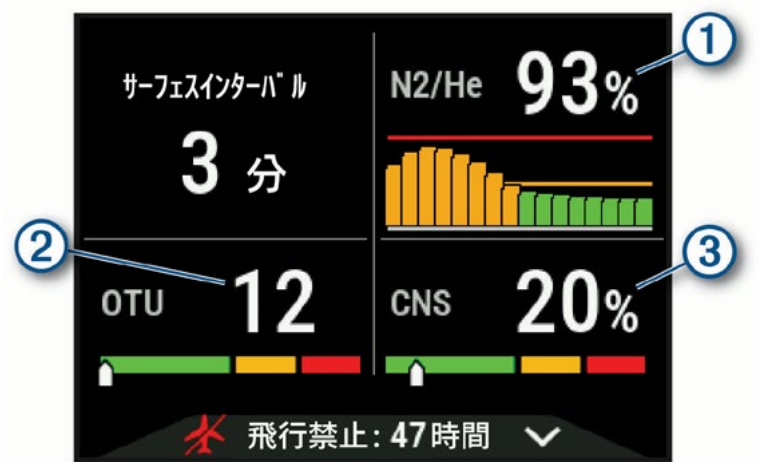
イベントが記録されます。イベントはダイビングログアプリで確認できます。(15 ページ [ダイビングログアプリを確認する](#))

サーフェスインターバルアプリを確認する

サーフェスインターバルアプリで窒素 (N2) とヘリウム (He) の体内組織の蓄積レベルと現在の酸素毒性単位 (OTU) と中枢神経系 (CNS) 酸素毒性レベルを確認できます。

注意：ダイビング中に蓄積した OTU は、24 時間後にリセットされます。

1 ホーム画面で [SI] を選択します。



①	緑：0 ～ 79% 黄：80 ～ 99% 赤：100% 以上
②	緑：0 ～ 249 OTU 黄：250 ～ 299 OTU 赤：300 OTU 以上
③	緑：中枢神経系 (CNS) 酸素毒性 0 ～ 79% 黄：中枢神経系 (CNS) 酸素毒性 80 ～ 99% 赤：中枢神経系 (CNS) 酸素毒性 100%以上

2 NEXT キーを押して、残り飛行禁止時間と飛行禁止時間終了時刻を確認します。

ダイビングログアプリを確認する

ダイビングログアプリでダイビングの記録を確認できます。

- 1 前回記録したダイビングを確認するには、ホーム画面の **[ダイブログ]** を選択します。
- 2 別のダイビングの記録を確認するには、**NEXT** キーを押します。
- 3 **ENTER** キーを押して、ダイビングの概要と深度を表示します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - ・ **[イベント]** ダイビング中に発生したイベント(最大深度到達や減圧停止開始)を表示します。
 - ・ **[温度]** ダイビングの温度グラフを表示します。
 - ・ **[位置]** ダイビングのエントリー / エキジット地点を確認します。
注意：ダイビングの開始 / 終了時に GPS を受信した場合、エントリー地点とエキジット地点のみを確認できます。
 - ・ **[すべてのデータ]** ダイビングの詳細を表示します。
 - ・ ダイブコンピューターからアクティビティを削除するには、**[メニュー]** > **[削除]** の順に選択します。
注意：ダイビングログアプリからアクティビティを削除しても、体内組織の蓄積量の計算に影響しません。

ダイビングプラン

デバイスを使ってダイビングプランを立てることができます。呼吸ガスや無減圧潜水時間(NDL)を計算できます。

無減圧潜水時間(NDL)の計算

無減圧潜水時間(NDL)または潜水深度を計算できます。計算結果は保存されません。また、計算結果は次のダイビングに適用されることもありません。

- 1 ホーム画面で下にスクロールしてアプリのリストを表示します。
- 2 **[ダイブプラン]** > **[NDL 計算]** の順に選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ **[今すぐダイビング]** 現在の体内組織の蓄積レベルを基に NDL を計算します。
 - ・ **[サーフェス Int. 入力]** サーフェスインターバルタイム経過後の体内組織の蓄積レベルを基に NDL を計算します。任意のサーフェスインターバルタイムを入力します。
- 4 酸素濃度を入力します。
- 5 次のオプションを選択します。
 - ・ **[深度入力]** 無減圧潜水時間(NDL)を計算したいときに、計画している潜水深度を入力します。
 - ・ **[タイム入力]** 潜水深度を計算したいときに、潜水時間を入力します。無減圧潜水時間(NDL)、潜水深度、最大行動水深(MOD)が表示されます。
注意：計画した深度が呼吸ガスの MOD を超える場合は、深度が赤字になります。
- 6 **ENTER** キーを押します。
- 7 次のオプションを選択します。
 - ・ **[完了]** 計算を終了します。
 - ・ **[次のダイブを追加]** サーフェスインターバルを入力して、次のダイビングの無減圧潜水時間(NDL)または潜水深度を計算します。

呼吸ガスを計算する

PO2 または酸素のパーセンテージ、最大深度の値を調整して呼吸ガスを計算します。ダイブ設定の水の種類が計算結果に影響します。(4 ページ **ダイブ設定**)

- 1 ホーム画面で下にスクロールしてアプリのリストを表示します。
- 2 **[ダイブプラン]** > **[ガス計算]** の順に選択します。
- 3 **PREV** キーまたは **NEXT** キーを押して、次の計算する値を選択します。
 - ・ **[PO2]** を選択します。
 - ・ **[O2%]** を選択します。
 - ・ **[深度]** を選択します。
- 4 **PREV** キーまたは **NEXT** キーを押して、値を調整します。
- 5 **ENTER** キーを押して、次の値を調整します。
調整値をもとにハイライトされた箇所の値が計算されます。
- 6 別の値を計算するには、**BACK** キーで前の画面に戻ります。

減圧プランを作成する

OC 減圧プランを作成して、そのプランをこれから実施するダイビングに適用できます。

- 1 ホーム画面で下にスクロールしてアプリのリストを表示します。
- 2 **【ダイブプラン】>【減圧プラン】>【新規追加】**の順に選択します。
- 3 減圧プランの名前を入力します。
- 4 次のオプションを選択します。
- 5 **[P02]** 最大酸素分圧を設定します。単位はバール(bar)です。
注意：P02 は、ガスの切り替えに使用されます。
 - ・ **【保守性】** 減圧計算のための保守性レベルを設定します。
 - ・ **【ガス】** ガスの混合比を設定します。
 - ・ **【最終減圧停止】** 最終減圧停止深度を入力します。
 - ・ **【ボトム深度】** ダイビング中に最も深く潜る深度を入力します。
 - ・ **【ボトムタイム】** ボトム深度に滞在する時間を入力します。
- 6 **【保存】**を選択します。

減圧プランを使用する

- 1 ホーム画面で下にスクロールしてアプリのリストを表示します。
- 2 **【ダイブプラン】>【減圧プラン】**の順に選択します。
- 3 減圧プランを選択します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - ・ **【確認】** 減圧プランの詳細を確認します。
 - ・ **【適用】** 減圧プランをダイビングモードに適用します。
 - ・ **【編集】** 減圧プランの詳細を変更します。
 - ・ **【名前の編集】** 減圧プランの名前を変更します。
 - ・ **【削除】>【はい】** 減圧プランを削除します。

ダイブサイトを検索する

周辺のダイブサイトや POI を検索できます。

- 1 ホーム画面で下にスクロールしてアプリのリストを表示します。
- 2 **【ナビゲーション】>☰>【近くのダイブサイト】**の順に選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ **【名前検索】** ダイブサイトを名前で検索します。
 - ・ 任意のカテゴリーを選択して検索します。
 - ・ **【全カテゴリー】** すべてのカテゴリーのダイブサイトを一覧表示して検索します。現在地周辺のダイブサイトが表示されます。
- 4 検索結果から任意の地点を選択します。
- 5 **☰**を選択します。
- 6 次のオプションを選択します。
 - ・ **【ポイント登録】** ダイブサイトを保存します。
 - ・ **【ナビ開始】** ダイブサイトへナビゲーションを開始します。

アルティチュードダイビング(高所潜水)

標高が高く気圧の低い場所では、体に含まれる窒素の量は海拔ゼロ地点でダイビングを開始するときよりも多くなります。ダイブコンピューターは、気圧センサーを使用して高度の変化を自動的に考慮します。減圧モデルで 사용되는絶対圧力値は、ダイブコンピューターに表示される高度やゲージ圧の影響を受けません。

ダイビングアラート

アラートメッセージ	原因	ダイブコンピューターの動作
なし	減圧停止が完了しました。	減圧停止の深度と時間が点滅します。
なし	酸素分圧 (PO2) の警告アラートの閾値を超えています。	PO2 の値が黄色点滅します。
%1 OTU 積算	OTU (酸素毒性単位) が安全限度を超えました。ダイビング中、「%1」には OTU の数値が表示されます。	この警告アラートは、2 分ごとに最大 3 回まで表示されます。
250 OTU 積算	OTU (酸素毒性単位) が 250 OTU に達し、安全限度の 300 OTU に近づいています。	なし
NDL まであと 5 分	無減圧潜水時間 (NDL) は残りあと 5 分です。	なし
NDL まであと 10 分	無減圧潜水時間は残りあと 10 分です。	なし
減圧停止に近づいています	減圧停止の深度の 3m 以内にいます。	なし
浮上またはガスの切り替え 高 PO2	PO2 緊急アラートの閾値を超えています。	PO2 の値が赤色点滅します。安全な深度に浮上するまで、アラートは 30 秒ごとに最大 3 回まで表示されます。
バッテリー残量低下	バッテリー残量が 20% 未満です。	この警告アラートは、バッテリー残量が 20% 未満のときに表示されます。
%1 で続行しています。いつでも切り替えることができます。	酸素の残量の高いガスへの切り替えの確認画面で【後で】を選択した場合、または確認画面を無視した場合に表示されます。	ガスは切り替わりません。2 分後に再度通知されます。
80% CNS 毒性	中枢神経系 (CNS) 酸素中毒レベルが安全限度の 80% です。	ダイビング中や次のダイビングを開始する前の画面を表示中にこの警告アラートが表示されます。
%1% CNS 毒性	中枢神経系 (CNS) 酸素中毒レベルが高すぎます。ダイビング中、「%1」には CNS のパーセンテージが表示されます。	この警告アラートは、2 分ごとに最大 3 回まで表示されます。
減圧完了	すべての減圧停止が完了しました。	なし
潜降またはガスを切り替え 低 PO2	PO2 の値が 0.18 bar 未満です。	ダイビング開始から 2 分以内の場合、PO2 の値が黄色点滅します。2 分以上経過している場合は赤色点滅します。 安全な水深まで潜降するか、ガスを切り替えるまで、アラートは 30 秒ごとに最大 3 回まで表示されます。
%1 まで潜降 減圧シーリング超過	減圧停止のシーリング深度を超えて 0.6m 以上浮上しています。「%1」は潜降すべき深度に置き換えられます。	現在の深度と停止深度が赤色点滅します。減圧停止のシーリング深度を超えた状態で 3 分間以上経過すると、減圧ロックアウト機能が働きます。
安全停止完了まで潜降	シーリング深度から 2m 以上浮上しています。	現在の深度とシーリング深度が黄色点灯します。
ダイブ終了まで %1 秒	ダイブコンピューターが自動でダイブを終了してデータを保存します。「%1」は秒数に置き換えられます。	なし
潜水しないでください。深度センサー読み取り失敗	ダイブコンピューターの深度センサーのデータが無効または欠落しています。	ダイビングを開始しないでください。
ダイブ条件を再確認 ダイブコンピューターが再起動しました	ダイビング中にダイブコンピューターが再起動しました。	ダイブコンピューターは再起動中のダイビングをシミュレートします。他のアラートが作動していない可能性があります。現在のダイビングの状況をよく確認してください。
NDL 超過。減圧が必要	無減圧潜水時間 (NDL) を超えました。	減圧停止のガイダンスを開始します。
安全にダイブ終了 バッテリー残少	バッテリー残量が 10% 未満です。	この警告アラートは、バッテリー残量が 10% 未満のときに表示されます。
安全にダイブ終了 ダイブコンピューターエラー	ダイブコンピューターに問題が発生し、復旧できません。	バックアップのダイブコンピューターまたはダイビングプランを使用してください。残留蓄積量はクリアされます。問題が解消しない場合は、サポートに連絡してください。

アラートメッセージ	原因	ダイブコンピューターの動作
安全にダイブ終了 深度センサー読み取り失敗	ダイビング開始後のダイブコンピューターの深度センサーのデータが無効または欠落しています。	この警告アラートが表示された場合は、バックアップのダイブコンピューターまたはダイブプランの使用に切り替えるか、潜水を終了してください。
安全停止完了	安全停止が完了しました。	なし
安全停止開始	減圧ガイダンスなしで 6m より上まで浮上しました。	設定されている場合、安全停止のカウントダウンタイマーが開始します。
浮上速度を落としてください 浮上が速すぎます	9.1m/分以上の速度で 5 秒以上浮上しています。	なし
今すぐ %1 に切り替えますか？	マルチガスモードのダイビングで、安全に呼吸するためにより高い酸素濃度のガスに切り替えることができます。「%1」はガスの名前に置き換えられます。	ガスを切り替えます。後でガスを切り替えることもできます。確認のメッセージが表示されます。
プールダイブは、ダイブログに保存されません	ダイブコンピューターがプールモードです。	プールモードでのダイビングは記録されません。

ダイビング用語

中枢神経系(CNS)：ダイビング中に上昇した酸素分圧(P02)への曝露によって引き起こされる中枢神経系の酸素中毒レベル。

最大行動水深(MOD)：呼吸ガスの酸素分圧(P02)が安全限度を超える深度。

無減圧潜水時間(NDL)：ダイビング中に減圧停止せずに現在の深度に滞在できる時間(分)。

酸素毒性単位(OTU)：ダイビング中に上昇した酸素分圧(P02)への曝露によって引き起こされる肺の酸素中毒レベル。
10TU は、100% 酸素を 1ATA の環境で 1 分間呼吸した場合の規準単位。

酸素分圧(P02)：深度と酸素の割合に基づく、呼吸ガス中の酸素の圧力。

サーフェスインターバル(SI)：最後の潜水が完了してから経過した時間。

浮上時間(TTS)：減圧と安全停止を含む、浮上に要する推定時間。

△注意

減圧停止は計算に含まれますが、安全停止は含まれません。

コンパス

コンパスの方位を固定する

- 1 ホーム画面で下にスクロールして、アプリのリストを表示します。
- 2 **【コンパス】**を選択します。
- 3 ダイブコンピューターの上部を進行方向に向けます。
- 4 **☰** > **【方位を設定】**の順に選択します。
設定した方位と進行方位の方位差が表示されます。ダイビングを開始しても、設定した方位は保持されます。

方位基準を設定する

北の定義を選択します。

- 1 ホーム画面で下にスクロールして、アプリのリストを表示します。
- 2 **【コンパス】** > **☰** > **【方位基準設定】** > **【方位基準】**の順に選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ **【磁北】** 磁石が指し示す地磁気の北方向(偏差を考慮しない)を方位基準に設定します。
 - ・ **【グリッド】** グリッド航法時に使用します。
 - ・ **【ユーザー】** 磁針偏差を入力して手動で設定します。
 - ・ **【真北】** 北極点の方向に方位基準を設定します。

コンパスを校正する

注意

コンパス校正は、周辺に磁気を帯びた機器のない場所で実施してください。パソコンの近くやマグネットが張り付く机などの上では、成功しない場合があります。自動車やビルの近く、頭上に電線のある場所を避け、屋外で実施することをお勧めします。ただし、コンパスが異常な動作をする場合や、長距離を移動した後や極端な温度変化があった場合には、手動で校正を行ってください。

- 1 ホーム画面で下にスクロールして、アプリのリストを表示します。
- 2 **【コンパス】** > **☰** > **【コンパスの校正】**の順に選択します。
- 3 画面に表示される指示に従って操作します。

ナビゲーション

ダイブコンピューターに保存済みのポイントや任意の地点への GPS ナビゲーション機能を利用することができます。

ナビゲーションを開始する

- 1 ホーム画面で下にスクロールしてアプリのリストを表示します。
 - 2 **【ナビゲーション】** >  の順に選択します。
 - 3 次のオプションを選択します。
 - ・ **【現在地】** 現在地を記録してナビゲーションします。記録した元の現在地との方位差と距離を示します。
 - ・ **【方位を設定】** 方位と距離を入力してナビゲーションの基準点を設定します。
 - ・ **【前回エントリー地点】** 前回のダイブアクティビティのエントリー地点までナビゲーションします。
 - ・ **【前回エキジット地点】** 前回のダイブアクティビティのエキジット地点までナビゲーションします。
 - ・ **【近くのダイブサイト】** ダイブサイトを検索してナビゲーションします。
 - ・ **【ダイブログ】** 過去のダイブログのエントリー地点またはエキジット地点までナビゲーションします。
 - ・ 保存済みポイントを選択してナビゲーションします。
- コントロールメニューからもポイントを保存できます。

保存済みポイントを編集する

保存済みポイントを確認、編集、削除します。

- 1 ホーム画面で下にスクロールしてアプリのリストを表示します。
- 2 **【ポイントマネージャー】** を選択します。
- 3 任意の地点を選択します。
- 4  > **【編集】** の順に選択します。
- 5 編集する項目を選択します。

ワイヤレス接続

スマートフォンとデバイスを Bluetooth 接続することで、ワイヤレス連携機能が利用できます。(21 ページ [スマートフォンとペアリングする](#))

スマートフォン接続機能

スマートフォン接続機能を利用するには、ダイブコンピューターとスマートフォンを Garmin Dive アプリでペアリングする必要があります。(21 ページ [スマートフォンとペアリングする](#))

Garmin Dive アプリへのデータアップロード：Garmin Dive アプリと Garmin Connect アカウントに自動でデータを同期します。

ソフトウェアアップデート：最新のソフトウェアをダウンロードしてインストールします。

スマート通知：スマートフォンの通知設定に基づいて、電話の着信やテキスト、アプリなどの通知をお知らせします。

スマートフォンとペアリングする

スマートフォン接続機能を利用するには、スマートフォンなどのモバイル端末とダイブコンピューターをペアリングする必要があります。ペアリングは、スマートフォンの Bluetooth 設定からではなく、Garmin Dive アプリで行います。

- 1 次のオプションを選択します。
 - ・ダイブコンピューターの初期設定で、スマートフォンのカメラで二次元コードをスキャンします。
 - ・初期設定がすでに完了している場合は、ホーム画面から下にスクロールして、アプリのリストから **[設定]** > **[ワイヤレス接続]** > **[スマートフォン]** > **[ペアリング]** の順に選択し、スマートフォンのカメラで二次元コードをスキャンします。
- 2 表示される指示に従って、ペアリングとセットアップを完了します。

Garmin Dive

対応するデバイスで記録したダイブログを Garmin Dive アプリにアップロードして、より詳細なデータを確認することができます。アップロードしたダイブログには、ダイビングの内容や写真、メモ、ダイブバディなどの情報を追加することができます。地図を利用して新しいダイビングポイントを参照したり、他のユーザーが共有した写真を表示することもできます。

Garmin Dive アプリのデータは、Garmin Connect アカウントに同期されます。Garmin Dive アプリは、スマートフォンのアプリストアからダウンロードすることができます。(Garmin.com/diveapp)

ワイヤレスセンサー

ダイブコンピューターは別売の ANT+ センサーまたは Bluetooth センサーをペアリングして使用することができます。デバイスに対応するワイヤレスセンサーについて、詳しくは Garmin.co.jp をご参照ください。

inReach リモート

デバイスで inReach 衛星コミュニケーターのリモート操作を行います。対応する inReach 衛星コミュニケーターは Garmin.co.jp からお求めいただけます。

inReach リモートを使用する

- 1 inReach 衛星コミュニケーターの電源を入れます。
- 2 ホーム画面で下にスクロールして、アプリのリストを表示します。
- 3 **[inReach リモート]** > **[はい]** の順に選択します。
- 4 inReach 衛星コミュニケーターが検索されます。
- 5 接続する inReach 衛星コミュニケーターを選択します。
- 6 ペアリングが完了したら、次のオプションを選択します。
 - ・ SOS メッセージを送信するには、**[SOS]** > **[SOS 開始]** の順に選択します。
注意：SOS の機能は実際の緊急時のみご利用ください。
 - ・ メッセージを送信するには、**[メッセージ]** > **[メッセージ入力]** の順に選択します。送信先を選択し、メッセージを入力またはクイックテキストメッセージを選択します。
 - ・ プリセットメッセージを送信するには **[メッセージ]** > **[プリセット送信]** を選択し、リストからメッセージを選択します。
 - ・ アクティビティ実行中の距離、時間を確認するには **[トラッキング]** を選択します。

設定

ホーム画面で下にスクロールしてアプリのリストを表示し、**【設定】**を選択します。

【ダイブ設定】：ダイブ設定をカスタマイズします。(4 ページ [ダイブ設定](#))

【音/バイブ】：キー操作音、アラート音、バイブレーションを設定します。

【ディスプレイ】：ディスプレイ設定をカスタマイズします。(22 ページ [ディスプレイ設定](#))

【ワイヤレス接続】：ダイブコンピューターをスマートフォンやワイヤレスセンサーに接続します。(21 ページ [ワイヤレス接続](#))

【システム】：言語や衛星、時刻表示形式などのシステム設定をカスタマイズします。(22 ページ [システム設定](#))

ディスプレイ設定

ホーム画面で下にスクロールしてアプリのリストを表示し、**【設定】** > **【ディスプレイ】**の順に選択します。

【輝度】：ディスプレイの輝度を設定します。

【自動バックライト】：周囲の明るさに応じてディスプレイの輝度を自動調整します。

【サーフェスページ表示時間】：ダイビングを実行していないときの画面の点灯時間を設定します。

注意：ダイビングを実行していないときに 30 分間キー操作がないと、ダイビングコンピューターの電源が自動でオフになります。

【フリップスクリーン】：画面を 180 度回転します。キーの機能も反転します。

システム設定

ホーム画面で下にスクロールしてアプリのリストを表示し、**【設定】** > **【システム】**の順に選択します。

【言語】：ダイブコンピューターの表示言語を設定します。(31 ページ [日本語で表示されません](#))

【ショートカット】：水上で使用するショートカットを設定します。

【コンパス】：コンパス校正とコンパスの方位基準を設定します。(19 ページ [コンパス](#))

【GPS】：衛星システムを設定します。(23 ページ [GPS 設定を変更する](#))

【時刻】：時刻の表示形式とタイムゾーンを設定します。

【パスコード】：4 桁のパスコードを設定して個人情報のセキュリティを強化することができます。(22 ページ [デバイスのパスコードを設定する](#))

【アドバンス設定】：表示単位や位置フォーマット、PC 接続時の MTP (メディア転送プロトコル)/Garmin モードの設定、水を検出した際の自動電源オンの設定などをカスタマイズします。

【リセット】：組織、データ、設定をリセットします。(23 ページ [初期設定にリセットする](#))

【更新を確認】：スマートフォンに接続されているときにソフトウェアの更新をダウンロードしてインストールします。

【バージョン情報】：デバイスのユニット ID、ソフトウェアバージョン、規制情報、ライセンス契約などの情報を確認します。

デバイスのパスコードを設定する

注意

パスコードを 3 回間違えると、ダイブコンピューターが一定時間ロックされます。5 回間違えると、Garmin Dive アプリでパスコードをリセットするまでダイブコンピューターがロックされます。スマートフォンとデバイスがペアリングされていない場合は、5 回間違えた時点でダイブコンピューターのデータと設定が初期化されます。

パスコードを設定して個人情報のセキュリティを強化することができます。

パスコード設定後も、パスコードの入力なしでダイブを開始できます。

1 ホーム画面で下にスクロールしてアプリのリストを表示します。

2 **【設定】** > **【システム】** > **【パスコード】** > **【パスコード設定】**の順に選択します。

3 4 桁のパスコードを入力します。

デフォルトの設定では、ダイブコンピューターの起動後または画面の消灯から復帰したときにパスコードの入力が求められます。**【パスコード要求】**のオプションで再度パスコードの入力が求められるまでの時間を設定できます。

デバイスのパスコードを変更する

パスコードを変更するには、現在のパスコードの入力が必要です。パスコードを忘れてしまった場合、またはパスコードを複数回間違えた場合は、Garmin Dive アプリでパスコードをリセットする必要があります。

- 1 ホーム画面で下にスクロールしてアプリのリストを表示します。
- 2 **[設定]>[システム]>[パスコード]>[パスコード変更]**の順に選択します。
- 3 現在の4桁のパスコードを入力します。
- 4 新しい4桁のパスコードを入力します。

GPS 設定を変更する

ダイブコンピューターの衛星設定を変更することができます。衛星システムについて、詳しくは Garmin.com/aboutGPS をご覧ください。

ホーム画面で下にスクロールしてアプリのリストを表示し、**[設定]>[システム]>[GPS]**の順に選択します。

[オフ]：衛星システムをオフに設定します。

[GPS]：GPS とみちびきのみを受信します。

[マルチ GNSS]：GPS、みちびき、GLONASS(ロシア)、GALILEO(欧州)、BeiDou(中国)の衛星測位システムの信号を受信します。GPS のみの受信より測位精度が向上しますが、バッテリーを消費します。

水を検知して自動起動を無効にする

[水を検知して自動起動]の設定が有効のとき、ダイブコンピューターは水を検知すると自動で電源がオンになります。ダイブコンピューターの電源を入れずにダイビングを開始した場合、最近の表面圧力を元に深度を決定します。正確な深度を測定するために、特に長距離を移動したあとは、ダイブコンピューターの電源を手動でオンにしてください。必要に応じて、**[水を検知して自動起動]**を無効に設定してください。

- 1 ホーム画面で下にスクロールしてアプリのリストを表示します。
- 2 **[設定]>[システム]>[アドバンス設定]>[水を検知して自動起動]**の順に選択します。

確認メッセージが表示されます。

設定を無効にすると、ダイブコンピューターは水を検知しても自動で起動しなくなります。

注意：**[水を検知して自動起動]**の設定が無効の場合でも、30 分間の待機状態が続いてダイブコンピューターの電源がオフになったときは、その後水を検知すると自動でダイブコンピューターが起動します。

初期設定にリセットする

リセットを実行する前に、ダイブデータを Garmin Dive アプリに同期してください。

デバイスの設定やデータをリセットします。

- 1 ホーム画面で下にスクロールして、アプリのリストを表示します。
- 2 **[設定]>[システム]>[リセット]**の順に選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・**[設定リセット]** デバイスの全設定を工場出荷状態にリセットします。(ユーザー情報とアクティビティデータは保持されます。)
 - ・**[組織リセット]** スキューバダイビングでの体内組織の蓄積量をリセットします。
注意：同一のユーザーがダイブコンピューターを使用し続ける限り、体内組織のリセットは行わないでください。
 - ・**[データ削除と設定リセット]** デバイスの全設定を工場出荷状態にリセットし、すべてのアクティビティデータとユーザー情報を削除します。

デバイスの情報を確認する

デバイスのユニット ID、ソフトウェアバージョン、規制情報、ライセンス契約などの情報を確認します。

- 1 **BACK** キーを長押しします。
- 2 **[設定]>[システム]>[バージョン情報]**の順に選択します。

電子ラベルの規制および準拠情報を確認する

デバイスのラベルを電子的に確認できます。e ラベルでは、FCC または地域のラベル規制によって提供される識別番号などの規制情報、該当する製品およびライセンス情報が表示されます。

- 1 **BACK** キーを長押しします。
- 2 **[設定]>[システム]**の順に選択します。
- 3 **[バージョン情報]**を選択します。

デバイス情報

デバイスを充電する

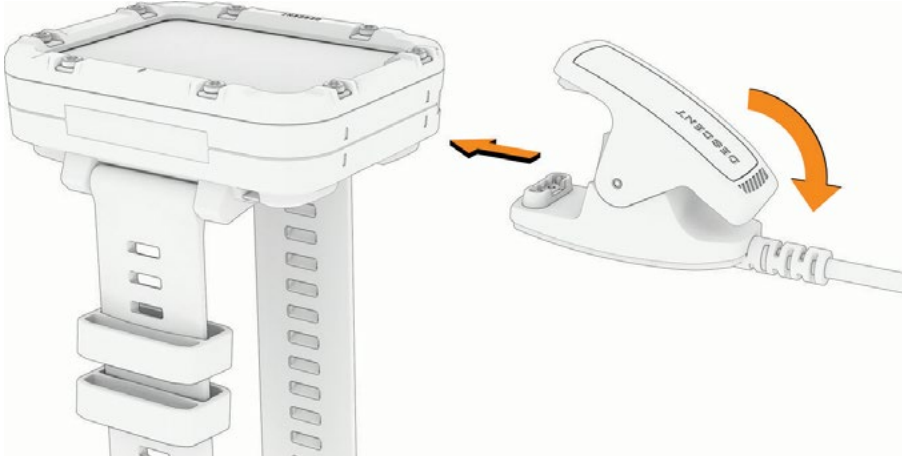
⚠ 警告

本製品はリチウムイオンバッテリーを内蔵しています。リチウムイオンバッテリーを安全にご使用いただくために、同梱の「安全および製品に関する警告と注意事項」に記載される内容を必ずお読みください。

注意

さびや腐食の原因となりますので、本体および充電ケーブルの端子やその周辺に付着した汚れや水分は、充電または PC 接続の前に必ずクリーニングしてください。(28 ページ お取り扱い上の注意事項)

- 1 充電ケーブルのクリップを開きます。
- 2 デバイスの裏面にある端子と充電ケーブルの電極部がしっかりと合うように、デバイスを挟みます。



- 3 充電ケーブルの USB 端子を充電可能な USB ポートに差し込みます。

ダイブコンピューターを装着する

ダイブコンピューターは、付属のシリコンバンドでウェットスーツの上から腕に装着することができます。

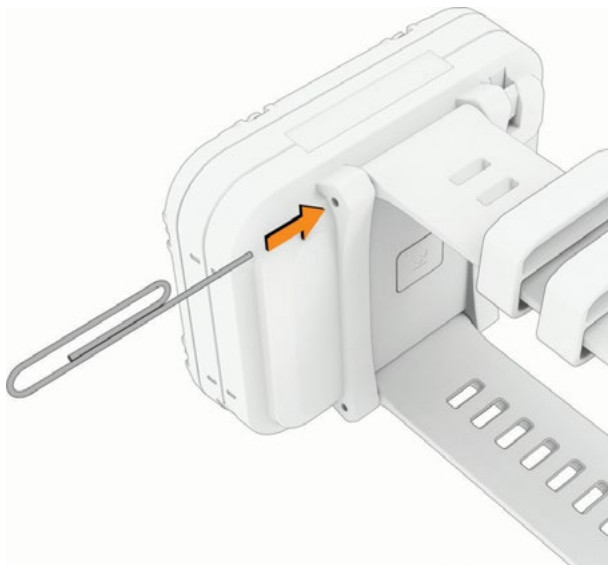
- 1 ダイブコンピューターを手首にしっかりと装着します。
- 2 バンドが長い場合は、バンドの端を折り返してバンドキーパーの上部の通し穴に通します。



バンドを交換する

バンドは Descent X30 交換用バンドまたは QuickFit 26mm バンドに交換できます。

- 1 ペーパークリップで片方のバンドのピンを押し、本体からバンドを取り外します。



- 2 次のオプションを選択します。

- Descent X30 交換用バンドに交換する場合は、新しいバンドの片側のピンを本体のピン穴に差し込み、反対側のピンを押し込みながらバンドを取り付けます。



注意：ピンが本体のピン穴にまっすぐ差し込まれていて、バンドがしっかりと固定されていることをお確かめください。

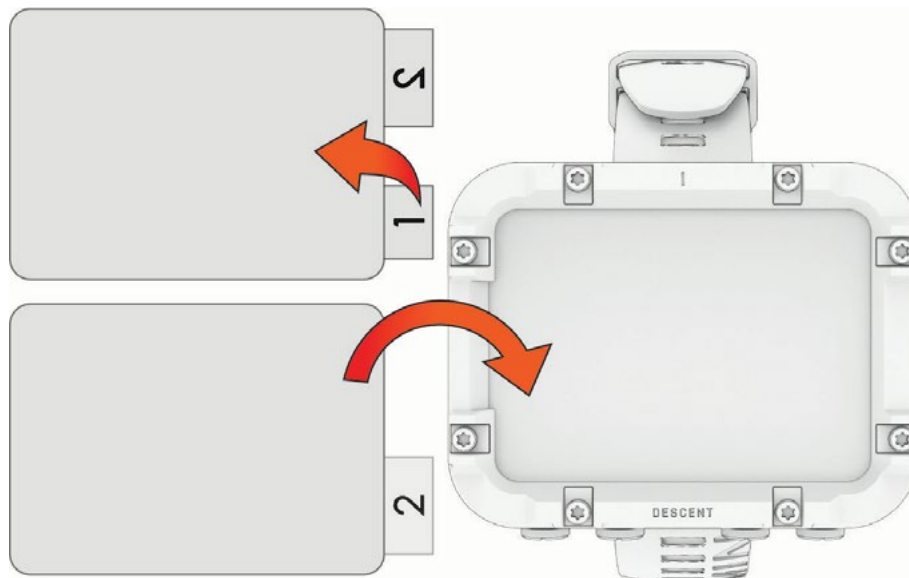
- QuickFit バンドに交換する場合は、Descent X30 のバンドのピンを取り外して本体に取り付け、新しいバンドをピンに取り付けます。

注意：ラッチが閉じてバンドがしっかりと固定されていることをお確かめください。

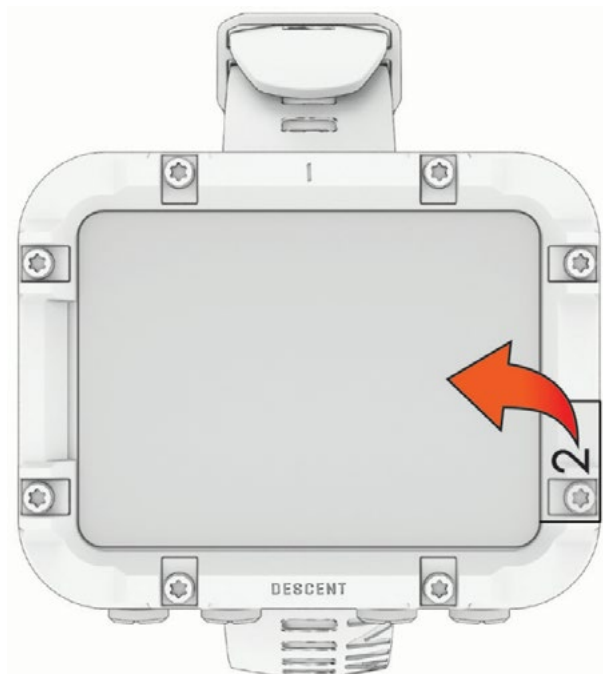
- 3 反対側のバンドも同様に交換します。

画面保護フィルムを貼り付ける

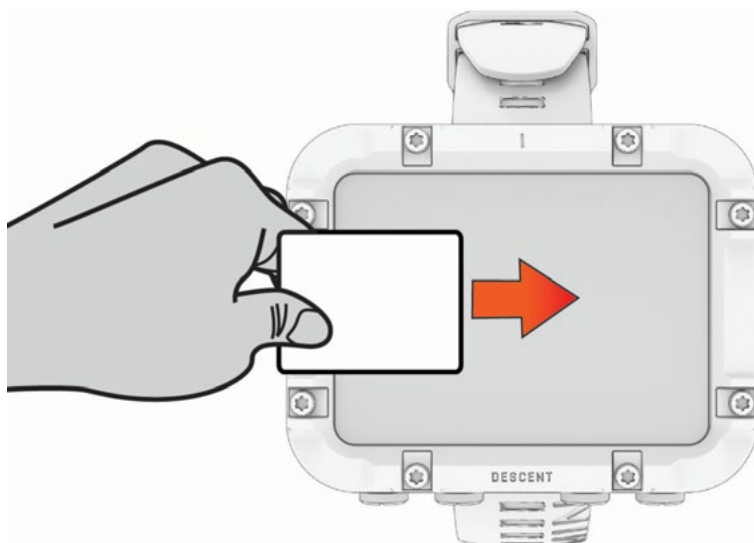
- 1 必要に応じて、ほこり除去シールを使ってダイブコンピューターの画面に付着したほこりやごみを取り除きます。
- 2 ウェットワイプでダイブコンピューターの画面を拭きます。
- 3 ドライワイプで画面を乾かします。
- 4 保護フィルムの粘着面(タブ 1)から保護シートを剥がします。



- 5 保護フィルムの端がダイブコンピューターの画面の端と正確に揃うように注意しながら、画面に保護フィルムを貼り付けます。
- 6 貼り付けに問題がある場合は、画面の一角から保護フィルムを慎重に剥がし、再度貼り直してください。
- 7 保護フィルムの上部側(タブ 2)のライナーを剥がします。



- 8 スキージを保護フィルムの上で滑らせて、気泡を取り除き、ダイブコンピューターの画面にしっかりと密着させます。



仕様

バッテリータイプ	充電式リチウムイオンバッテリー
防水性能	10 ATM ¹ ダイビング (EN13319) ²
減圧モデル	Bühlmann ZHL-16C
動作・保管温度範囲	-20 ～ 60°C
動作温度範囲 (水中)	0 ～ 40°C
充電温度範囲	0 ～ 45°C
深度センサー	精度：0 ～ 100m (EN 13319 準拠) 解像度 (メートル)：99.9m まで 0.1m 刻み / 100m 以上 1m 刻み 解像度 (フィート)：1ft 刻み
点検間隔	使用前には必ず部品に損傷がないか点検してください。必要に応じて部品を交換してください。 ³

*1 水深 100m に相当する圧力に耐えられます。防水性能について、詳しくは [Garmin.com/ja-JP/legal/waterrating-definitions/](https://garmin.com/ja-JP/legal/waterrating-definitions/) をご参照ください。

*2 技術標準規格 EN13319 に準拠して試験されています。

*3 通常使用による摩耗を除く。経年劣化による性能への影響はありません。

バッテリー稼働時間

注意

バッテリー稼働時間は、Garmin のテスト環境下での標準値です。実際のバッテリー稼働時間は、GPS モードや内部センサー、接続中のセンサー、バックライトなどの各種機能の利用状況やデバイスの使用環境により異なります。

モード	バッテリー稼働時間
ダイブモード (ディスプレイ高輝度)	約 10 時間
ダイブモード (ディスプレイ中輝度)	約 30 時間
ダイブモード (ディスプレイナイトダイブモード)	約 47 時間

お取り扱い上の注意事項

注意

デバイスを傷めるおそれがあるため、クリーニングの際に先のとがったものを使用しないでください。

化学洗剤や溶剤、防虫剤はデバイスのプラスチック部や塗装を傷めるおそれがあるため使用しないでください。

塩素や海水、日焼け止めクリーム、化粧品、アルコール、その他刺激の強い化学薬品等が本製品に付着した場合は、真水で洗い流し、柔らかい布で水分をしっかりと拭き取ってください。

深度センサーや気圧計が故障するおそれがあるため、水圧や風圧で洗浄する機器は使用しないでください。

製品寿命を縮めるおそれがありますので、机や床等に落とすなど激しいショックを与えないでください。

高温になるおそれがある場所でデバイスを長期間保管しないでください。デバイスの故障の原因となる可能性があります。

デバイスが破損している場合や、保管温度範囲外で保管されていた場合には、デバイスを使用しないでください。

デバイスのクリーニング方法

△ 注意

ダイブコンピューターを長期間装着すると、特に敏感肌やアレルギーをお持ちの方は、皮膚に炎症やかぶれが生じることがあります。皮膚に炎症やかぶれが生じた場合には、症状が改善するまでダイブコンピューターを取り外してください。皮膚の炎症やかぶれを防ぐため、ダイブコンピューターを常に清潔で乾燥した状態に保ってください。腕に装着する際は、バンドを締め付けすぎないようにしてください。

注意

さびや腐食の原因となりますので、本体およびチャージングケーブルの端子やその周辺に付着した汚れや水分は、充電または PC 接続の前に必ずクリーニングしてください。

ダイブコンピューターを濡れたまま保管すると、予期せず電源がオンになり、バッテリーを消耗するおそれがあります。

ヒント：クリーニング方法については、Garmin.com/ja-JP/watch-fit-and-care をあわせてご参照ください。

- 1 真水ですすぐか、湿らせたリントフリークロスを使用します。
- 2 ダイブコンピューターを完全に乾かします。

データ項目

注意：アクティビティタイプにより、表示可能なデータ項目が異なります。一部のデータ項目は、複数のカテゴリーに表示される場合があります。

名前	説明
浮上速度	水面に向かって浮上している現在の速度
平均深度	ダイビング中の平均潜水深度
平均温度	ダイビング中の平均温度
バッテリー残量	バッテリーの残量をパーセンテージで表示
バッテリー / 時刻 / 温度	バッテリー残量 / 現在地と時刻設定 (時刻表示形式、タイムゾーン、サマータイム) に基づく現在の時刻 / 気温
コンパス	デバイスの進行方向を視覚的に表示
コンパス方位	現在の移動方位を角度で表示 (内蔵の電子コンパスを使用)
保守性	減圧計算の保守性レベル
CNS	中枢神経系 (CNS) 酸素中毒レベル (%)
現在のガス P02	現在のガスの酸素分圧 (P02) レベル
最大深度	ダイビング中の最大深度
最高気温	ダイビング中の最高気温
最低気温	ダイビング中の最低気温
N2/He%	窒素 / ヘリウムの蓄積量 (%)
NDL ↑ 3M	現在の深度から 3m 浮上した場合の無減圧潜水時間 (NDL)
NDL ↓ 3M	現在の深度から 3m 潜降した場合の無減圧潜水時間 (NDL)
NDL Δ 3M	現在の深度から 3m 浮上または潜降した場合の無減圧潜水時間 (NDL)
なし	空白を表示します。
OTU	現在の酸素毒性単位 (OTU)
RAW シーリング	四捨五入されていないシーリング深度。この深度より浮上できません。
ストップウォッチ	現在のダイビング中のストップウォッチのタイム
日の出時刻	GPS の位置情報に基づく現在地の日の出時刻
日の入時刻	GPS の位置情報に基づく現在地の日の入り時刻
サーフェス GF	ダイバーが直ちに浮上した場合に予想されるグラディエント・ファクター
気温	現在の気温
時刻	現在地と時刻設定 (時刻表示形式、タイムゾーン、サマータイム) に基づく時刻 (時 : 分)
時刻 (秒)	現在地と時刻設定 (時刻表示形式、タイムゾーン、サマータイム) に基づく時刻 (時 : 分 : 秒)
水面までの時間	減圧停止を含めた安全に水面に上がるまでに要する時間 (TTS)
組織グラフ (GF)	体内の窒素とヘリウムのシミュレーション値のグラフ (この項目の y 軸はユーザーの保守性に合わせて調整されています。)
組織グラフ (RAW)	体内の窒素とヘリウムのシミュレーション値のグラフ
TTS@+5 分	現在の深度に 5 分間留まった場合に安全に水面に上がるまでに要する時間
TTS Δ +5 分	現在の深度に 5 分間留まった場合に安全に水面に上がるまでに要する時間と TTS の差

トラブルシューティング

製品のアップデート

スマートフォンと Bluetooth 接続中に自動でデバイスの更新が確認されます。システム設定から手動で更新を確認することもできます(22 ページ システム設定)。PC の場合は、Garmin Express(www.garmin.com/express)をインストールします。次のサービスを利用することができます。

- ソフトウェアアップデート
- 製品の登録

デバイスに関するその他の情報

デバイスに関する最新・補足情報は、Garmin のウェブサイト(Garmin.co.jp)をご参照ください。

サポートセンター support.Garmin.com/ja-JP/

チュートリアルビデオ [\[e ラーニング\]](#) Descent X30

別売のアクセサリまたはパーツの購入については、Garmin.co.jp にアクセスするか Garmin の正規取扱店にお問い合わせください。

日本語で表示されません

ダイブコンピューターの言語を誤って設定してしまった場合には、次の手順に従って言語設定を変更します。

- 1 ホーム画面で下にスクロールして、アプリのリストを表示します。
- 2  を選択します。
- 3 リストの一番下の項目までスクロールして、**ENTER キー**を押します。
- 4 **ENTER キー**を押します。
- 5 **[日本語]**を選択します。

デバイスはどのスマートフォンに対応していますか？

デバイスは Bluetooth 技術搭載のスマートフォンに対応しています。互換性について詳しくは Garmin.com/ble をご参照ください。

デバイスとスマートフォンが接続できません

次のいずれかまたは複数の方法をお試しください。

- スマートフォンとダイブコンピューターの電源をオフにし、再度電源をオンにします。
- スマートフォンの Bluetooth 接続をオンに設定してください。
- Garmin Dive アプリを最新のバージョンにアップデートしてください。
- Garmin Dive アプリとスマートフォンの Bluetooth 設定からデバイスを削除して、再度ペアリングしてください。
- 新しいスマートフォンを購入した場合は、今後使用しないスマートフォンの Garmin Dive アプリからデバイスを削除してください。
- スマートフォンがデバイスの 10m(33ft)以内にあることをお確かめください。
- スマートフォンをペアリングモードにするには、Garmin Dive アプリを開き、... > **[Garmin デバイス]** > **[デバイスの追加]** の順に選択します。

ダイビング

組織をリセットする

ダイブコンピューターに保存された現在までの体内組織の蓄積量をリセットします。同一のユーザーがデバイスを
使用し続ける限り、体内組織のリセットは行わないでください。

- 1 ホーム画面で下にスクロールして、アプリのリストを表示します。
- 2 **[設定]>[システム]>[リセット]>[組織リセット]**の順に選択します。

表面気圧をリセットする

デバイスは内蔵の気圧高度計で表面気圧を自動測定します。飛行機に搭乗するなどして大きな気圧の変化があった
場合に、デバイスが誤ってダイブアクティビティを自動開始してしまうことがあります。その場合には、ダイブコ
ンピューターを PC に接続することで、表面気圧をリセットすることができます。PC に接続できないときは、次の
手順で表面気圧をリセットできます。

- 1 ダイブコンピューターの電源がオフになるまで、**PWR キー**を長押しします。
- 2 再度 **PWR キー**を長押しして、ダイブコンピューターの電源をオンにします。
- 3 ロゴマークが表示されたら、表面気圧のリセットを確認する画面が表示されるまで **NEXT キー**を長押しします。

衛星信号を受信する

デバイスで衛星信号を受信するには、上空の開けた屋外に出る必要があります。GPS の位置情報に基づいて、日付
と時刻が自動で設定されます。

ヒント：GPS について詳しくは Garmin.com/ja-JP/aboutGPS/ をご参照ください。

- 1 上空の開けた屋外に出ます。
デバイスの表面を空に向けてください。
- 2 上空の開けた場所で静止して GPS の受信を完了します。
通常、30 ～ 60 秒で受信が完了します。

GPS 衛星受信を向上する

- デバイスと Garmin Connect アカウントの同期はこまめに実施してください。
 - チャージングケーブルでデバイスを PC に接続し、Garmin Express を起動します。
 - スマートフォンの Garmin Dive アプリとダイブコンピューターを Bluetooth 接続で同期します。

Garmin Connect アカウントに接続すると、数日分の衛星軌道情報が自動でデバイスにダウンロードされるため、
素早い GPS の受信が可能になります。

- 屋外に出て、周囲にビルや森林のない開けた場所に移動してください。
- 衛星信号の受信完了後、2 ～ 3 分間静止してください。

商標について

本操作マニュアルの内容の一部または全部を Garmin の書面による承諾なしに転載または複製することはできません。本操作マニュアルの内容ならびに製品の仕様は、予告なく変更される場合があります。

製品に関する最新・補足情報については、[Garmin.co.jp](https://www.garmin.co.jp) にアクセスしてください。

Garmin, Garmin ロゴ, ANT+, inReach および QuickFit は、米国またはその他の国における Garmin Ltd. またはその子会社の登録商標です。

Descent, Garmin Connect, Garmin Dive および Garmin Express は Garmin Ltd. またはその子会社の商標です。Garmin の許可を得ずに使用することはできません。

BLUETOOTH® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Garmin はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

M/N: A05071

